

## ソーシャルスキルのチェックシート（学校版）

### ○行動面のチェック

I・IIは、段階を示している。（I…小学校低学年から、II…小学校中学年から）

#### 【集団での協調行動】

チェック項目		評価	指導の 必要性
大項目	小項目	総合評価・行動の様子	
集団への参加の仕方	I	○集団に参加したり、かかわったりする	( )
	I	○途中めけたり、やめたりせずに仲間と遊ぶなど、集団の動きについていく	( )
		○次の活動にスムーズに移る	( )
		○様々な場所や状況に応じて自分のすべき行動がとれる ①経験のある場所 ②初めての場所	( )
自分の役割の 実行	I	○自分の役割をやりとげる ①日直や係の仕事 ②学校全体の仕事	( )
	I	○仲間と協力しながら仕事（または課題）を行う	( )
		II	○学校や学級のルールを守る
社会的常識・ ルールの理解 遵守	II	○ゲームのルールを理解する ①簡単なゲーム ②集団遊び ③複雑なゲーム	( )
		○決めたルールに従ってゲームなどに参加する（ずるをしない・勝手にルールを変えない・順番を守る・暗黙の内に決まっているルールも守るなど）	( )
		○一般的な常識など、人間関係に関する一定のルールや社会のマナーを守る	( )

#### 【集団の中での自己コントロール】

チェック項目		評価	指導の 必要性
大項目	小項目	総合評価・行動の様子	
いやな ことに対する 対応の 仕方	I	○“思いが伝わらない、いやな事がある”などが原因で情緒が不安定になっても、人を非難したり、騒いだり、人をたたき、自分を傷つける、物を投げるなど、乱暴なことをせず、適切な対応をする 〔適切な対応〕 ・外に出る・がまんする・お守り等で気持ちをうまく切り替えられるなど	( )
	I	○ゲームなどの勝負事で自分の負けを受け入れる	( )
授業中 での対応の 仕方	I	○注意を引きたくて騒いだり、ふざけたりしない	( )
		○勝手に席を離れたり、そわそわ体を動かしたりしないで座っていられる	( )
		○他の友だちに余計な干渉をしない	( )
		○関係のないおしゃべりをしない	( )
		○関係のない物音や他の人の行動に注意がそれてしまわない	( )

#### 【友だちや先生（大人）とのかかわり】

チェック項目		評価	指導の 必要性
大項目	小項目	総合評価・行動の様子	
決められた 場面での 会話	I	○挨拶する （朝・昼・状況に応じた挨拶）	( )
		○挨拶に応じる （返事をする・お辞儀をする）	( )
		○自己紹介する	( )
トラブル 等の 対処	I	○いやなことやできないことは、拒否をする	( )
		○自分が困ったとき、助けを求める	( )
		○人に頼むとき、優しい頼み方をする	( )
		○誘われた時に相手を傷つけないようにうまく断る	( )
		○けんかをした時に、自分から謝りに行くなどの適切な対応をする	( )
		○いいわけやうそをついてごまかさない（正直に答える、あやまるなど）	( )
		○物をなくした時、探す、友だちなどに聞く等、適切な対処をする	( )

【友だちや先生（大人）とのかかわり】

チェック項目		評価	指導の必要性
大項目	小項目	総合評価・行動の様子	
親しい仲間との対応	I	○遊んでいる仲間に自分から進んで加わる（集団への入り方、遊び仲間への入り方）	( )
		○友だちを遊びなどの活動に誘う	( )
	II	○物の貸し借りの時に適切なやり取りをする（相手の承諾を得るなど）	( )
		○冗談を言い合う	( )
他者の気持ちに配慮した対応（行動、発言）	II	○相手がいやがることを言葉で言ったり、行動したりしない（相手を批判する言葉 など）	( )
		○思っていること、感じていることをそのまま言わない（まずい、くさい、太っているなど、相手を不愉快にさせる言葉）	( )
		○友だちが失敗したときなど、励ましたり慰めたり、相手を気遣うあたたかい言葉を使う	( )
		○相手の主張や意見を聞き入れる（自分の主張に妥協する）	( )
相手に応じた対応	II	○目上の人に敬語を使う（敬語を使う、敬語の使い分けができる）	( )
		○知らない人に丁寧な言葉遣いをする（なれなれしい言葉遣いをしない）	( )

【コミュニケーション】

チェック項目		評価	指導の必要性
大項目	小項目	総合評価・行動の様子	
態度	I	○会話や発言を自分からする	( )
		○話しかけると注意を向け続けられる（全体への話や指示、個人に対する話や指示）	( )
		○視線を合わせて会話をする	( )
		○相手の会話に応じて話すなど、会話を続ける	( )
		○相手の話を最後まで聞いてから答えたり、発言したりする（ひとの話に口を挟んだり、思いついたことを話さない）	( )
表現の仕方	I	○流暢に表現する（話すタイミング・抑揚・声の大きさの調整）	( )
		○優しい言葉遣いで話す（激しい口調で言葉をかけない）	( )
内容	I	○自分の気持ちを言葉、表情、身振りで表現する（くやしき・いかり・よろこびなど）	( )
		○聞かれたこと・意見を求められたこと・自分の思ったことをきちんと話す	( )
		○質問する（知りたいこと・わからないことなど）	( )
	II	○物事を順序だてて話す	( )
		○全体の意見を参考にして、結論を出す	( )
		○適度に、自分の要求や主張を表現する	( )
		○関係の無い話をせず、内容・集団のテーマに沿った発言をする	( )

○行動を支える理解面のチェック

チェック項目		評価	チェック項目		評価
大項目	小項目	評価・理解の様子	大項目	小項目	評価・理解の様子
自分自身を理解する	○ボディイメージをもつ	( )	他者を理解する	○相手の表情の違いに気づく（にこやか、こわい、緊張）	( )
	○自分の特徴や適性（長所・短所など）を理解する	( )		○表情、ジェスチャーから、隠されている感情を理解する（喜んでいる、悲しんでいる、怒っている）	( )
	○自分に対して自信をもっている	( )		○冗談を理解する	( )
	○自分のした行動を振り返る	( )		○言外の意味を理解する	( )
	○自分を大切に（自分は大めなどと言わない）	( )		○相手の立場（集団、先生、友人）に応じてやり取りを調整する	( )
	○他者や所属する集団の感情（喜び・悲しみなど）を共有する	( )		○場の雰囲気（緊張感や静寂、のんびりとした感じ）を感じる	( )
気持ちを共有する	○友人の特徴（長所・短所、興味、趣味など）を理解したり、自分との共通点や違いを理解したりする	( )	場面や状況を理解する	○全体の雰囲気から、自分が取るべき行動を理解する	( )
	○共感的態度（声援を送る、喜びの共感）を取る	( )			